

女川町商工会

平成27年度経営発達支援計画の実施状況報告

平成28年7月7日

経営発達支援事業の内容	実施内容	評価																				
<p>I. 経営発達支援事業の内容</p> <p>1. 地域の経済動向調査に関すること【指針③】</p> <p>i. 国・県などの統計情報からの分析に係る取組（継続、拡充） みやぎ経済月報（宮城県統計課編）や観光統計概要（宮城県観光課編）等の統計書を活用する。 これまではこうした情報が出る度に県などの公表資料を広報紙等を通じて会員企業に紹介する程度であった。今後は、当町の復興の鍵となる基幹産業に重点をあてた売上、従業員規模、製品種別などの分析を新たに行うとともに、これらの調査項目について県内他市町村との比較を通じた強み・弱み、課題等を分析し、今後の域内事業者の支援の方向性や行政への提言などにも活用する。 さらに、これまで宮城県商工会連合会が実施している中小企業景況調査の結果を活用して、県内中小企業の業種毎の景気動向について把握する。これらの調査からも基幹産業については業種毎・事業規模毎に分析するとともに、その分析結果と合わせて活用を行う。</p> <p>【各種統計情報の収集頻度】</p> <table border="1" data-bbox="170 730 1189 884"> <thead> <tr> <th>統計情報種別</th> <th>収集頻度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>みやぎ経済月報</td> <td>月1回</td> </tr> <tr> <td>観光統計概要</td> <td>年1回</td> </tr> <tr> <td>中小企業景況調査</td> <td>年4回（四半期毎）</td> </tr> </tbody> </table> <p>ii. 国・県の「中小企業等グループ施設等復旧整備補助事業」採択事業者について、商工会では従来より各事業所のフォローアップ支援を行っている。その中で個々の景気動向や顧客のニーズを把握する。</p> <p>iii. iiで示した補助事業採択事業者以外の町内小規模事業者についても、日々の巡回訪問や商工会主催のセミナー・講習会等の事業を通じて、その景気動向や顧客のニーズについて把握することで、経済動向調査のための基礎資料の収集を行う。</p> <p>iv. (株)日本政策金融公庫石巻支店や町内金融機関（七十七銀行、仙台銀行、石巻信用金庫）より、町内及び近隣市町に立地する商工業者の動向や資金需要について情報を収集する。 → ii～ivについて、情報収集は各事業所への巡回訪問の都度行うが、それら収集情報を分析するための取りまとめについては月1回実施する。</p>	統計情報種別	収集頻度	みやぎ経済月報	月1回	観光統計概要	年1回	中小企業景況調査	年4回（四半期毎）	<p>・左記の4つの統計についてはその内容について収集し日々の経営支援の基礎資料にしているが、分析までは行っていない。</p> <p>・定期的に中小企業等グループ施設等復旧整備補助事業採択事業者を対象とした進捗支援を行い、景気動向・顧客のニーズを把握している。 ・日々の巡回訪問等により、景気動向・顧客のニーズを把握している。</p> <p>・(株)日本政策金融公庫石巻支店の協力の下、月1回金融相談会（一日公庫）を開催し、資金需要について情報共有を行うとともに、金融機関との情報交換を日々の巡回訪問の際行っている。</p>	<p>評価</p> <table border="1" data-bbox="1767 325 2157 365"> <tr> <td>A</td> <td style="background-color: yellow;">B</td> <td>C</td> </tr> </table> <p>評価</p> <table border="1" data-bbox="1767 951 2157 991"> <tr> <td style="background-color: yellow;">A</td> <td>B</td> <td>C</td> </tr> </table> <p>評価</p> <table border="1" data-bbox="1767 1098 2157 1137"> <tr> <td style="background-color: yellow;">A</td> <td>B</td> <td>C</td> </tr> </table> <p>評価</p> <table border="1" data-bbox="1767 1244 2157 1284"> <tr> <td style="background-color: yellow;">A</td> <td>B</td> <td>C</td> </tr> </table>	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C
統計情報種別	収集頻度																					
みやぎ経済月報	月1回																					
観光統計概要	年1回																					
中小企業景況調査	年4回（四半期毎）																					
A	B	C																				
A	B	C																				
A	B	C																				
A	B	C																				

【評価について】A:計画項目を実施しており、かつ効果が現れている B:計画項目を実施しているが、効果が現れていない C:計画項目が実施されていない

経営発達支援事業の内容	実施内容	評価																
<p>【収集した情報の分析・活用方法】</p> <p>収集したデータについては、日々商工会にて行う経営指導員間の打ち合わせや、職員間の打ち合わせを通じて分析を行うとともに、会員事業所が活用できるようなデータとして解析する。</p> <p>具体的には、町内の復興状況を全業種において取りまとめ、小規模事業者が復興度合いを共有できる情報提供を巡回訪問・窓口相談等の機会を捉え行う。</p> <p>地域経済動向を業種毎に細分化し分析するとともに、今後想定される町内経済の影響と女川町が将来抱えるであろう課題について分析した資料を、分かりやすく巡回訪問や窓口相談等の機会を捉え情報提供し、事業の継続的な発展のために活用していく。</p> <p>その上で、課題解決の手法を事業所毎に設計し、提供・活用する。その手法については、各々の売上の増加・販路の開拓及び拡大につながるよう、業種毎に下記のポイントに着目し設計する。</p> <table border="1" data-bbox="132 619 1227 919"> <thead> <tr> <th>業種</th> <th>ポイント</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>商業</td> <td>経営に関する判断を正しくするための知識・知恵を有するための情報提供</td> </tr> <tr> <td>工業</td> <td>販路の開拓に関する情報、消費動向に関する情報</td> </tr> <tr> <td>水産業</td> <td>女川の水産物のブランド化（1次→6次までの商品精度の向上）に関する情報の提供</td> </tr> <tr> <td>サービス業</td> <td>観光客（来街者）に、自店のサービスを選択してもらえらるような商品の開発に関する情報提供</td> </tr> </tbody> </table> <p>取りまとめたデータについては、商工会々員事業所に対して年4回情報公開する。また、取り纏めた内容に基づく講習会を年1回開催することで、以降で述べる経営分析・経営計画策定の一助に資する。さらに、女川町内の小規模事業者等に対する周知並びにデータのストックを目的に、商工会ホームページに四半期毎に掲載する。</p> <p>2. 経営状況の分析に関すること【指針①】</p> <p>i. 経営指導員の日々の巡回訪問や震災復興を目的とした補助事業の採択事業者のフォローアップ業務を通じて、これからの女川町の復興において特に重要となる水産加工業、観光関連の小売・サービス業等から分析の対象となる小規模事業者をピックアップして、以下の分析項目に重点を置いた経営状況の把握を行い地域の基幹産業の経営分析データとしてとりまとめる。これらのデータは、今後の基幹産業の振興策に対する行政への提案や個別の事業計画支援の基礎データとして活用するほか、iiに記載する個別の事業者への経営状況の分析等にも活用していく。</p> <p>なお、実施にあたっては、宮城県内中小企業の専門的な経営課題の解決にあたる宮城県</p>	業種	ポイント	商業	経営に関する判断を正しくするための知識・知恵を有するための情報提供	工業	販路の開拓に関する情報、消費動向に関する情報	水産業	女川の水産物のブランド化（1次→6次までの商品精度の向上）に関する情報の提供	サービス業	観光客（来街者）に、自店のサービスを選択してもらえらるような商品の開発に関する情報提供	<p>・情報の収集は行っているが、会員事業所が活用できるようなデータとしての解析は行っていない（商工会ホームページへの掲載も行っていない）。</p> <p>・各種補助金に係る事業計画策定上、現状把握に必要な財務分析や内部環境の整理を行っている。</p>	<p>評価</p> <table border="1" data-bbox="1765 220 2159 256"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> </tr> </table> <p>【評価者コメント】 <u>会員が活用できるデータとして情報を分析することは、小規模事業者の成長に重要な要素の一つなので、次年度以降は分析及びその結果の公表をお願いします。</u></p> <p>評価</p> <table border="1" data-bbox="1765 1169 2159 1206"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> </tr> </table>	A	B	C	A	B	C
業種	ポイント																	
商業	経営に関する判断を正しくするための知識・知恵を有するための情報提供																	
工業	販路の開拓に関する情報、消費動向に関する情報																	
水産業	女川の水産物のブランド化（1次→6次までの商品精度の向上）に関する情報の提供																	
サービス業	観光客（来街者）に、自店のサービスを選択してもらえらるような商品の開発に関する情報提供																	
A	B	C																
A	B	C																

【評価について】A:計画項目を実施しており、かつ効果が現れている B:計画項目を実施しているが、効果が現れていない C:計画項目が実施されていない

経営発達支援事業の内容		実施内容	評価																																																																															
商工会連合会・広域企業支援グループとの連携により効率的な把握に努める。 【ポイントとする項目及び分析する指標等】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>分析する指標等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>財務 (定量的視点)</td> <td> ■売上高(金額推移) ■経常利益(金額の推移) ■売上高総利益率 ■売上高経常利益率 ■流動比率 ■自己資本比率 </td> </tr> <tr> <td>財務以外 (定性的視点)</td> <td> ■企業が提供する製品やサービス ■企業が保有する設備や技術、従業員 ■競合他社との差別的要素(強み) ■自社において不足している要素(弱み) ■環境面での競争優位性(将来的な変化を考えた分析) </td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 財務分析については、(独)中小企業基盤整備機構が提供する「経営自己診断システム」を活用し、一目で分かるような資料として当該事業所にフィードバックする → URL http://k-sindan.smrj.go.jp/crd/servlet/diagnosis.CRD_0100</p> <p>ii. 経営分析した結果については、iに示すような地域の核となる産業の統計的な経営データとしての活用のみならず、これらの結果をもとにして、個別の事業所に対し、日々の巡回訪問・窓口指導を通じて、経営改善に必要な提案を実施する。その際には、財務以外の定性面についても分析を行いつつ当該事業所を取り巻く経済動向【指針①】、商品・サービスの需要動向【指針③】などについて個々の小規模事業者の事業内容等に応じた情報の提供を行いつつ、売上・利益の向上に繋がるような的確なアドバイスを行う。</p> <p>iii. 経営分析を実施・分析に基づくアドバイスを実施した事業所については、必要に応じて、事業計画策定支援【指針②】の実施、需要開拓のため必要な事業【指針④】の提案に繋げて行くことで、事業計画策定や実施支援がスムーズに行われるよう努める。</p> 【目標】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>現状</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>巡回訪問件数</td> <td>820</td> <td>862</td> <td>904</td> <td>956</td> </tr> <tr> <td> 製造業(水産加工業)</td> <td>140</td> <td>150</td> <td>160</td> <td>170</td> </tr> <tr> <td> 建設業</td> <td>110</td> <td>115</td> <td>120</td> <td>125</td> </tr> <tr> <td> 小売業</td> <td>300</td> <td>315</td> <td>330</td> <td>350</td> </tr> <tr> <td> 卸売業</td> <td>30</td> <td>32</td> <td>34</td> <td>36</td> </tr> <tr> <td> サービス業(宿泊業)</td> <td>240</td> <td>250</td> <td>260</td> <td>275</td> </tr> <tr> <td>経営分析件数</td> <td>4</td> <td>10</td> <td>12</td> <td>14</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 経営分析件数については、当初経営指導員1名につき5件を目標として、以降1年</p>		項目	分析する指標等	財務 (定量的視点)	■売上高(金額推移) ■経常利益(金額の推移) ■売上高総利益率 ■売上高経常利益率 ■流動比率 ■自己資本比率	財務以外 (定性的視点)	■企業が提供する製品やサービス ■企業が保有する設備や技術、従業員 ■競合他社との差別的要素(強み) ■自社において不足している要素(弱み) ■環境面での競争優位性(将来的な変化を考えた分析)	項目	現状	H27	H28	H29	巡回訪問件数	820	862	904	956	製造業(水産加工業)	140	150	160	170	建設業	110	115	120	125	小売業	300	315	330	350	卸売業	30	32	34	36	サービス業(宿泊業)	240	250	260	275	経営分析件数	4	10	12	14	<p>・新たな事業を実施する際に必要な提案を経済動向や消費者ニーズを把握した上でやっている。</p> <p>・将来の販路を見据えた上で、売上・利益の向上に繋がるようなアドバイスを実施している。</p> 【実績(～H28.12)】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>H27 目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>巡回訪問件数</td> <td>862</td> <td>653</td> </tr> <tr> <td> 製造業</td> <td>140</td> <td>102</td> </tr> <tr> <td> 建設業</td> <td>110</td> <td>65</td> </tr> <tr> <td> 小売業</td> <td>300</td> <td>262</td> </tr> <tr> <td> 卸売業</td> <td>30</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td> サービス業</td> <td>240</td> <td>202</td> </tr> <tr> <td>経営分析件数</td> <td>10</td> <td>55</td> </tr> </tbody> </table>	項目	H27 目標	実績	巡回訪問件数	862	653	製造業	140	102	建設業	110	65	小売業	300	262	卸売業	30	22	サービス業	240	202	経営分析件数	10	55	<p>評価</p> <table border="1"> <tr> <td style="background-color: yellow;">A</td> <td>B</td> <td>C</td> </tr> </table> <p>評価</p> <table border="1"> <tr> <td style="background-color: yellow;">A</td> <td>B</td> <td>C</td> </tr> </table> <p>数値目標に対する評価</p> <table border="1"> <tr> <td style="background-color: yellow;">A</td> <td>B</td> <td>C</td> </tr> </table>	A	B	C	A	B	C	A	B	C
項目	分析する指標等																																																																																	
財務 (定量的視点)	■売上高(金額推移) ■経常利益(金額の推移) ■売上高総利益率 ■売上高経常利益率 ■流動比率 ■自己資本比率																																																																																	
財務以外 (定性的視点)	■企業が提供する製品やサービス ■企業が保有する設備や技術、従業員 ■競合他社との差別的要素(強み) ■自社において不足している要素(弱み) ■環境面での競争優位性(将来的な変化を考えた分析)																																																																																	
項目	現状	H27	H28	H29																																																																														
巡回訪問件数	820	862	904	956																																																																														
製造業(水産加工業)	140	150	160	170																																																																														
建設業	110	115	120	125																																																																														
小売業	300	315	330	350																																																																														
卸売業	30	32	34	36																																																																														
サービス業(宿泊業)	240	250	260	275																																																																														
経営分析件数	4	10	12	14																																																																														
項目	H27 目標	実績																																																																																
巡回訪問件数	862	653																																																																																
製造業	140	102																																																																																
建設業	110	65																																																																																
小売業	300	262																																																																																
卸売業	30	22																																																																																
サービス業	240	202																																																																																
経営分析件数	10	55																																																																																
A	B	C																																																																																
A	B	C																																																																																
A	B	C																																																																																

【評価について】A:計画項目を実施しており、かつ効果が現れている B:計画項目を実施しているが、効果が現れていない C:計画項目が実施されていない

経営発達支援事業の内容	実施内容	評価																																																									
<p>毎に1名につき1件増加させる。伴走型支援の実施において実現可能な件数として設定。</p> <p>※ 巡回訪問件数については、毎年各業種5%程度増加させる。</p> <p>3. 事業計画策定支援に関すること【指針②】</p> <p>(1) 既存事業者に対する支援</p> <p>i. 経営に関する各種セミナー開催の際に、事業計画策定を目指す小規模事業者の掘り起こしを行う。</p> <p>ii. 復興に係る補助事業のフォローアップ支援や巡回訪問時に、小規模事業者からの相談を受けるとともに、事業計画策定を希望する小規模事業者の掘り起こしを行う。</p> <p>iii. i・iiで掘り起こしを行った者の他、国の「小規模事業者持続化補助金」や「中小企業・小規模事業者ものづくり・商業・サービス革新事業補助金(ものづくり補助金)」、または「経営革新計画」に合致するような事案があった場合には、経営革新等認定支援機関として勧奨を行うとともに、事業計画策定の支援を行う。</p> <p>【事業計画策定目標】</p> <table border="1" data-bbox="143 842 1218 1070"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>現状</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業計画策定支援件数</td> <td>—</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>うち補助事業計画策定支援件数</td> <td>5</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td> 持続化補助金事業計画</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td> ものづくり補助金事業計画</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td> 経営革新事業計画</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 持続化補助金については経営指導員1名あたり2件、ものづくり補助金については経営指導員1名あたり1件、また経営革新計画については商工会で1件の計画策定を目標として設定。</p> <p>(2) 創業希望者に対する支援</p> <p>i. 東日本大震災後、女川町での新規事業立上げ支援等を目的に設立された、特定非営利活動法人「アスヘノキボウ」(代表理事:小松洋介氏)と連携し、創業希望者に対するノウハウの提供並びに創業計画の策定支援を行う。</p>	項目	現状	H27	H28	H29	事業計画策定支援件数	—	10	10	10	うち補助事業計画策定支援件数	5	7	7	7	持続化補助金事業計画	3	4	4	4	ものづくり補助金事業計画	2	2	2	2	経営革新事業計画	1	1	1	1	<p>・セミナー開催の際は、経営に関する個別相談を実施している。</p> <p>・主にグループ補助金採択者に対して進捗状況のフォローや今後の復旧の相談に応じている。</p> <p>・上記の相談者等については、各種施策について活用を勧奨するとともに、後述のとおり事業計画策定を商工会経営指導員が主体となり行っている。</p> <p>【実績】</p> <table border="1" data-bbox="1323 842 1742 1070"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業計画策定支援</td> <td>10</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>うち補助事業計画</td> <td>7</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td> 持続化補助金</td> <td>4</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td> ものづくり補助金</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td> 経営革新</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>・産業競争力強化法に基づく創業支援事業計画に基づき、アスヘノキボウ及び女川町とともに創業希望者に対する支援を行っている。</p>	項目	目標	実績	事業計画策定支援	10	20	うち補助事業計画	7	7	持続化補助金	4	3	ものづくり補助金	2	3	経営革新	1	1	<p>評価((1) i~iii)</p> <table border="1" data-bbox="1771 437 2154 480"> <tr> <td style="background-color: yellow;">A</td> <td>B</td> <td>C</td> </tr> </table> <p>数値目標に対する評価</p> <table border="1" data-bbox="1771 842 2154 885"> <tr> <td style="background-color: yellow;">A</td> <td>B</td> <td>C</td> </tr> </table> <p>評価</p> <table border="1" data-bbox="1771 1283 2154 1326"> <tr> <td style="background-color: yellow;">A</td> <td>B</td> <td>C</td> </tr> </table>	A	B	C	A	B	C	A	B	C
項目	現状	H27	H28	H29																																																							
事業計画策定支援件数	—	10	10	10																																																							
うち補助事業計画策定支援件数	5	7	7	7																																																							
持続化補助金事業計画	3	4	4	4																																																							
ものづくり補助金事業計画	2	2	2	2																																																							
経営革新事業計画	1	1	1	1																																																							
項目	目標	実績																																																									
事業計画策定支援	10	20																																																									
うち補助事業計画	7	7																																																									
持続化補助金	4	3																																																									
ものづくり補助金	2	3																																																									
経営革新	1	1																																																									
A	B	C																																																									
A	B	C																																																									
A	B	C																																																									

【評価について】A:計画項目を実施しており、かつ効果が現れている B:計画項目を実施しているが、効果が現れていない C:計画項目が実施されていない

経営発達支援事業の内容	実施内容	評価																																																																																		
<p>ii. iで創業を希望する者に対して、国・県等の創業に係る支援施策（国の創業補助金など）の情報提供を行うとともに、経営革新等認定支援機関として勧奨し、事業計画策定の支援を実施する。</p> <p>【目標】</p> <table border="1" data-bbox="192 325 1167 405"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>現状</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>創業計画策定支援件数</td> <td>—</td> <td>5</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 平成27年度については、女川駅前商業街区の復興が急速に進み、創業相談が増えることが予想されるため、5件/年の目標積算。以降は年間3件の創業計画策定を目標として目論む。</p> <p>4. 事業計画策定後の実施支援に関すること【指針②】</p> <p>(1) 既存事業者に対するフォローアップ支援</p> <p>策定した事業計画をもとに、事業者が確実に力をつけてゆくためには、伴走型支援の確実な実施によるフォローアップが必要不可欠であるが、従来はそのサポートが十分に行えていなかった現状がある。</p> <p>今後本会では、宮城県商工会連合会・広域企業支援グループ（サポーティングリーダー）等との連携により、事業計画策定後も伴走型の指導・助言を行うことで、小規模事業者が持続的に発展できるよう支援を行う。</p> <p>具体的な実施方法については、事業計画策定後（補助事業採択後）については、おおむね1ヶ月に1回巡回訪問を行う（頻度については計画の進捗状況により適宜加減する）ことで、計画の進捗状況を確認するとともに、必要な助言・指導を行う。</p> <p>また、事業計画遂行時に、国・県・町が実施する有益な施策については適宜情報提供を行うことで、経営の向上に努める。</p> <p>【フォローアップ目標】</p> <table border="1" data-bbox="143 1102 1216 1366"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>現状</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業計画策定支援件数(前掲)</td> <td>—</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>うち補助事業計画策定支援件数(前掲)</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td> 持続化補助金事業計画(前掲)</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td> ものづくり補助金事業計画(前掲)</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td> 経営革新事業計画(前掲)</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>フォローアップ事業者数</td> <td></td> <td>10</td> <td>20</td> <td>30</td> </tr> </tbody> </table>	項目	現状	H27	H28	H29	創業計画策定支援件数	—	5	3	3	項目	現状	H27	H28	H29	事業計画策定支援件数(前掲)	—	10	10	10	うち補助事業計画策定支援件数(前掲)	5	6	6	6	持続化補助金事業計画(前掲)	3	4	4	4	ものづくり補助金事業計画(前掲)	2	2	2	2	経営革新事業計画(前掲)	1	1	1	1	フォローアップ事業者数		10	20	30	<p>・創業補助金に係る事業計画策定等を支援するとともに、(株)日本政策金融公庫の創業融資制度の活用勧奨を行い、円滑な創業に努める。</p> <p>【実績】</p> <table border="1" data-bbox="1357 363 1680 440"> <thead> <tr> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5</td> <td>7</td> </tr> </tbody> </table> <p>・商工会経営指導員が中心となり、グループ補助金に係る新分野進出計画や各種補助事業のフォローアップを実施することで、確実な経営のステップアップのための指導・支援を行っている。また、必要に応じて、宮城県商工会連合会・広域企業支援グループと連携し、企業力の強化にあたっている。</p> <table border="1" data-bbox="1321 1098 1740 1366"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業計画策定支援</td> <td>10</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>うち補助事業計画</td> <td>7</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td> 持続化補助金</td> <td>4</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td> ものづくり補助金</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td> 経営革新</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>フォローアップ数</td> <td>10</td> <td>20</td> </tr> </tbody> </table>	目標	実績	5	7	項目	目標	実績	事業計画策定支援	10	20	うち補助事業計画	7	7	持続化補助金	4	3	ものづくり補助金	2	3	経営革新	1	1	フォローアップ数	10	20	<p>評価</p> <table border="1" data-bbox="1767 217 2154 256"> <tr> <td style="background-color: yellow;">A</td> <td>B</td> <td>C</td> </tr> </table> <p>数値目標に対する評価</p> <table border="1" data-bbox="1767 363 2154 403"> <tr> <td style="background-color: yellow;">A</td> <td>B</td> <td>C</td> </tr> </table> <p>評価</p> <table border="1" data-bbox="1767 624 2154 663"> <tr> <td style="background-color: yellow;">A</td> <td>B</td> <td>C</td> </tr> </table> <p>数値目標に対する評価</p> <table border="1" data-bbox="1767 1102 2154 1142"> <tr> <td style="background-color: yellow;">A</td> <td>B</td> <td>C</td> </tr> </table>	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C
項目	現状	H27	H28	H29																																																																																
創業計画策定支援件数	—	5	3	3																																																																																
項目	現状	H27	H28	H29																																																																																
事業計画策定支援件数(前掲)	—	10	10	10																																																																																
うち補助事業計画策定支援件数(前掲)	5	6	6	6																																																																																
持続化補助金事業計画(前掲)	3	4	4	4																																																																																
ものづくり補助金事業計画(前掲)	2	2	2	2																																																																																
経営革新事業計画(前掲)	1	1	1	1																																																																																
フォローアップ事業者数		10	20	30																																																																																
目標	実績																																																																																			
5	7																																																																																			
項目	目標	実績																																																																																		
事業計画策定支援	10	20																																																																																		
うち補助事業計画	7	7																																																																																		
持続化補助金	4	3																																																																																		
ものづくり補助金	2	3																																																																																		
経営革新	1	1																																																																																		
フォローアップ数	10	20																																																																																		
A	B	C																																																																																		
A	B	C																																																																																		
A	B	C																																																																																		
A	B	C																																																																																		

【評価について】A:計画項目を実施しており、かつ効果が現れている B:計画項目を実施しているが、効果が現れていない C:計画項目が実施されていない

経営発達支援事業の内容	実施内容	評価																																	
<p>(2) 創業希望者に対するフォローアップ支援</p> <p>i. 東日本大震災後、女川町での新規事業立上げ支援等を目的に設立された、特定非営利活動法人「アスヘノキボウ」(代表理事：小松洋介氏)と連携し、協働してビジネスプランを作成し、創業を実現した創業者に対するフォローアップ支援を行う。</p> <p>ii. 事業計画策定後～創業後概ね3年間については、1月に1回のペースで巡回訪問を行う(頻度については計画の進捗状況により適宜加減する)ことで、計画の進捗状況を確認するとともに、記帳指導・税務指導等実務も含め、伴走型の支援を実施する。 さらに、創業後の資金需要がある際は、(株)日本政策金融公庫石巻支店との協働により円滑な資金調達が行えるよう努める。</p> <p>【フォローアップ目標】</p> <table border="1" data-bbox="165 655 1191 770"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>現状</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>創業計画策定支援件数(前掲)</td> <td>—</td> <td>5</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>フォローアップ事業者数</td> <td>—</td> <td>5</td> <td>8</td> <td>11</td> </tr> </tbody> </table> <p>5. 需要動向調査に関すること【指針③】</p> <p>i. 経済動向の情報や経営状況分析を踏まえた中で、事業者が提供するサービスや製品の特性や強みを見直し、様々な視点からの需要動向を研究し、事業者の持続的発展につながる需要調査を行う。 尚、調査方法及びその活用については、下記のポイントを念頭に置く。</p> <div data-bbox="145 1038 1220 1204" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>*地域単位での需要動向と外部の情報収集(トレンドの読み取り) *観光や水産のブランド化を将来的な需要として捉え、広く地域外の動向を注視 *商業・工業など、町内住民を対象とする業種・業態であれば、現状そして将来を見据えた経営指導を実施すること</p> </div> <p>ii. 上記ポイントを念頭に置きつつ、業種毎に下記のような視点で需要動向の調査を行う。参考とする情報源としては、消費者の声(口コミ・レビュー)が直接収集できるようなWebサイトを活用する。</p>	項目	現状	H27	H28	H29	創業計画策定支援件数(前掲)	—	5	3	3	フォローアップ事業者数	—	5	8	11	<p>・産業競争力強化法に基づく創業支援事業計画に基づき、アスヘノキボウ及び女川町とともに創業希望者に対する支援を行っている。</p> <p>・創業補助金に係る事業計画策定等を支援するとともに、(株)日本政策金融公庫の創業融資制度の活用勧奨を行い、円滑な創業に努める。</p> <p>【実績】</p> <table border="1" data-bbox="1357 655 1680 770"> <thead> <tr> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>7</td> </tr> </tbody> </table> <p>・(i～iv)左記サイトの活用は行い、職員間で情報共有を行っており、日々の巡回訪問の際の基礎資料として、また事業計画の策定にあたり活用しているが、会員事業所が使えるようなデータとしての分析は行っていない(商工会 Facebook への情報掲載も行っていない)。 ・補助事業等計画策定にあたり個別に需要動向の調査を行ったのは6件(ものづくり：2件、持続化：2件、創業：1件、経営革新：1件)</p>	目標	実績	5	7	5	7	<p>評価</p> <table border="1" data-bbox="1767 256 2154 293"> <tr> <td style="background-color: yellow;">A</td> <td>B</td> <td>C</td> </tr> </table> <p>評価</p> <table border="1" data-bbox="1767 405 2154 442"> <tr> <td style="background-color: yellow;">A</td> <td>B</td> <td>C</td> </tr> </table> <p>数値目標に対する評価</p> <table border="1" data-bbox="1767 660 2154 697"> <tr> <td style="background-color: yellow;">A</td> <td>B</td> <td>C</td> </tr> </table> <p>評価(i～iv)</p> <table border="1" data-bbox="1767 920 2154 957"> <tr> <td>A</td> <td style="background-color: yellow;">B</td> <td>C</td> </tr> </table>	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C
項目	現状	H27	H28	H29																															
創業計画策定支援件数(前掲)	—	5	3	3																															
フォローアップ事業者数	—	5	8	11																															
目標	実績																																		
5	7																																		
5	7																																		
A	B	C																																	
A	B	C																																	
A	B	C																																	
A	B	C																																	

【評価について】A:計画項目を実施しており、かつ効果が現れている B:計画項目を実施しているが、効果が現れていない C:計画項目が実施されていない

経営発達支援事業の内容			実施内容	評価
	参考とする情報源	収集頻度		
製造業 (水産加工業)	* 47CLUB (http://www.47club.jp/) →全国の地方新聞社推薦・お取り寄せサイト、 特に加工食品・飲料品のトレンドを掴む	年4回		
卸・小売業	* 47CLUB→前掲 * 日経トレンドィネット (http://trendy.nikkeibp.co.jp/) →小売・飲食・サービス業の大まかなトレンド * Amazon ランキング (http://www.amazon.co.jp/gp/bestsellers) →各種商品の売れ筋のチェック	年4回		
サービス業	・ユーザーが選んだ!! 口コミ・売れ筋宿ランキング (http://www.jalan.net/jalan/doc/ranking/) →リクルート社が運営する「じゃらん.net」の ユーザーが選ぶ宿泊施設のランキングサイト 各施設ごとのユーザーが記録した口コミ ・レビューのチェック * 日経トレンドィネット→前掲	年4回		
<p>iii. 収集したデータについては、日々商工会にて行う経営指導員間の打ち合わせや、職員間の打ち合わせを通じて分析を行うとともに、会員事業所が活用できるようなデータとして解析する。</p> <p>iv. 分析したデータについては、小規模事業者の支援のためにわかりやすい資料として作成するとともに、巡回訪問や窓口相談等の機会を捉え情報提供するほか、個別の事業者の需要予測や事業計画の策定の際にも活用するなど、小規模事業者それぞれの事業の継続的な発展のために活用していく。また、分析したデータについては、商工会ホームページ・商工会 Facebook にて掲載することで、広く小規模事業者(会員事業所)に対して周知する。</p>				

【評価について】A:計画項目を実施しており、かつ効果が現れている B:計画項目を実施しているが、効果が現れていない C:計画項目が実施されていない

経営発達支援事業の内容	実施内容	評価																																																				
<p>6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること【指針④】</p> <p>i. 展示会・商談会への出展に際し必要な心構え、事前に準備する製品に係る資料等について事前に周知・作成支援することにより、効果的な出展対策を講じる。具体的には農林水産省で提唱する「FCP展示会・商談会出展シート」の事前作成指導等が挙げられる。</p> <p>ii. 各種団体が主催する小規模事業者の販路開拓を目的とした商談会事業の出展を勧奨する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>■具体的な商談会等の例</p> <ul style="list-style-type: none"> *伊達な商談会（仙台商工会議所（宮城県商工会議所連合会）） *販路回復地域内商談会（宮城県商工会連合会） *東北ろっけんパーク（仙台市）で開催される催事でのスポット出展 </div> <p>iii. 販路開拓を目指す商品の情報を、商工会のFacebook(既存)に掲載することで、広く周知を図る (https://www.facebook.com/onagawasyokokai)。情報の掲載にあたっては、既存のページで掲載を担当する専従の臨時職員1名が担当する。</p> <p>iv. 商談会出展後等、バイヤー等からの提案により、製品のコンセプトの再構築や、自身の改善・再デザインが必要な場合は、宮城県商工会連合会・広域企業支援グループ（サポーターリーダー）や課題解決に必要な専門家を招へいすることで、適切な支援・提案を行う。</p> <p>v. 製品のブランド化については、女川町内の水産加工品のブランド化を目的として震災後設立された、復幸まちづくり女川合同会社の支援を必要の都度受けることで、製品の付加価値の向上に努める。</p> <p>【目標】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>現状</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>販路開拓支援者数</td> <td>—</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>フォローアップ件数</td> <td>—</td> <td>10</td> <td>20</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>商談会事業参加件数</td> <td>—</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>上記のうち成約件数</td> <td>—</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table>	項目	現状	H27	H28	H29	販路開拓支援者数	—	10	10	10	フォローアップ件数	—	10	20	30	商談会事業参加件数	—	8	8	8	上記のうち成約件数	—	4	4	4	<p>・商談会出展にあたり必要な情報や心構えについては日々の巡回訪問において周知徹底している。</p> <p>・出展に関する情報が届いた際は、全会員宛郵送にて周知するとともに、巡回訪問・窓口相談の際販路開拓を目指す会員事業所に対しては、更に周知徹底を行っている。</p> <p>・商工会 Facebook には掲載していないが全国商工会連合会のECサイト「ニッポンセレクト」へ商品登録について6件の取次を行った。</p> <p>・必要の都度、巡回訪問することで課題の解決にあたっている。</p> <p>・必要の都度、相談を受けることで課題の解決にあたっている。</p> <p>【実績】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>支援者数</td> <td>10</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>フォローアップ</td> <td>10</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>商談会参加</td> <td>8</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table>	項目	目標	実績	支援者数	10	7	フォローアップ	10	7	商談会参加	8	3	<p>評価</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 33%;">A</td> <td style="width: 33%; background-color: yellow;">B</td> <td style="width: 33%;">C</td> </tr> </table> <p>評価</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 33%; background-color: yellow;">A</td> <td style="width: 33%;">B</td> <td style="width: 33%;">C</td> </tr> </table> <p>評価</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 33%;">A</td> <td style="width: 33%; background-color: yellow;">B</td> <td style="width: 33%;">C</td> </tr> </table> <p>評価</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 33%; background-color: yellow;">A</td> <td style="width: 33%;">B</td> <td style="width: 33%;">C</td> </tr> </table> <p>数値目標に対する評価</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 33%;">A</td> <td style="width: 33%; background-color: yellow;">B</td> <td style="width: 33%;">C</td> </tr> </table>	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C
項目	現状	H27	H28	H29																																																		
販路開拓支援者数	—	10	10	10																																																		
フォローアップ件数	—	10	20	30																																																		
商談会事業参加件数	—	8	8	8																																																		
上記のうち成約件数	—	4	4	4																																																		
項目	目標	実績																																																				
支援者数	10	7																																																				
フォローアップ	10	7																																																				
商談会参加	8	3																																																				
A	B	C																																																				
A	B	C																																																				
A	B	C																																																				
A	B	C																																																				
A	B	C																																																				

【評価について】A:計画項目を実施しており、かつ効果が現れている B:計画項目を実施しているが、効果が現れていない C:計画項目が実施されていない

経営発達支援事業の内容	実施内容			評価		
<p>Ⅱ. 地域経済の活性化に資する取組</p> <p>(1) 地域活性化に資する協議会の取り組み 既存の組織のみならず、以上のように新たに組成された団体、そして行政とともに新たな女川のまちづくりに日々取り組むが、そのまちづくりのために必要な合議体を下記イメージのように設置することで、少なくとも月1回の定例的な情報交換と新たな取り組みの具現化に努める（その他連絡調整のための打ち合わせ会議は、必要の都度実施する。）。合議体の取りまとめについては、女川町復興連絡協議会の流れを汲んで、女川町商工会が担う。</p> <p>(2) イベント等を通じた基幹産業及び町の魅力の発信 従来、特に震災以前は、町内他団体との連携については特に考慮せず、商工会の趣旨・目的のみに特化したイベントを開催していたが、今後は本計画の趣旨にのっとり、町内小規模事業者の復興の一助、並びに女川町の復興計画の目的である「滞在型観光」の具現化の一助に資するため、女川みらい創造（株）や復興まちづくり女川合同会社、そして（一社）女川町観光協会、NPO法人アスヘノキボウ、他町内各種団体と連携しながら、下記の事業を実施する。事業の具体的実施にあたっては、必要の都度上記団体との連絡会議を開催することで、時宜にマッチし町民及び観光客にとって魅力あるイベントを開催する。</p> <p>i. 日頃の町内事業所での買上に感謝することを目的にした「商工祭」事業を継続して実施することでにぎわいの創出に貢献する。 【具体的な事業内容】 大抽選会（お買上 300 円毎に補助券 1 枚進呈、10 枚で 1 回抽選→現金つかみ取りや、水産加工品のセットが当たる）、水産物等格安販売等</p> <p>ii. 東日本大震災後、平成 24 年 3 月より実施する「女川町商店街復興祭」（主催：女川町復興祭実行委員会）に町内各種団体と参画することで、町外の方々の復興支援に感謝し、域外観光客に対する女川町の PR の一助に資する。</p> <p>iii. 平成 27 年 3 月の JR 女川駅移転開業（通称「まちびらき」）後にはじまった、商店街区や観光交流エリア等周辺施設の整備に伴い、来街客が楽しめるようなイベントを企画・開催することにより、魅力ある「にぎわい拠点」づくりの一助に資する。具体的には、女川駅前にて、町内物産の PR・来街者が気持ち良い滞在・新たな女川ファンの獲得を目的とした「おもてなし市」を（一社）女川町観光協会と協働して実施する。</p>	成約件数	4	3	評価		
				A	B	C
				評価		
				A	B	C

【評価について】A:計画項目を実施しており、かつ効果が現れている B:計画項目を実施しているが、効果が現れていない C:計画項目が実施されていない

経営発達支援事業の内容	実施内容	評価																																												
<p>【実施スケジュール】</p> <table border="1" data-bbox="174 252 1182 443"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>現状</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>商工祭事業</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>女川町商店街復幸祭事業</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>にぎわい拠点でのイベント事業 (おもてなし市の開催)</td> <td>—</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>12</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ これらのイベント開催時には、事業計画策定を支援することにより新規事業に取り組んでいる事業所【指針②】や、新たな需要の開拓を目的として開発された【指針④】商品等の出品を当該事業所に積極的に勧奨することで、事業機会・取引機会の拡大と、水産業の町・女川のイメージアップに努めるものとする。</p> <p>Ⅲ. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組</p> <p>1. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること</p> <p>当地域の復旧・復興は、新たな震災後から約4年を経過した平成27年3月21日にJR女川駅の完成とともに行われた復幸祭から本格的にスタートしたと言っても過言ではない。女川町では平成26年12月に被災者・非被災者も含めた新たな商業・街づくりの再生の基礎となる「まちなか再生計画」について被災地域の市町村で初となる総理大臣認定を受け、具体的に動き出しているところである。こうした取組の中では震災後に急速に流出している人口の中で、女川町にあったコンパクトな街づくりとこれに参加する地域の事業者の事業持続性が鍵であり、このために今後は官民間問わず多様な機関によるサポートが重要である。</p> <p>こうした官民を挙げた取組は、具体的には、平成25年4月よりNPO法人アスヘノキボウが人材・組織育成・産業活性化といった活動に女川町などの支援を受けて傾注しており、商工会を通じた地域の小規模事業者からの個別相談に対応いただくとともに、商工会から同NPO法人に対して施策の情報提供などが行われている。また、小規模事業者のブランド構築や販路開拓については、平成24年9月に女川町内の水産加工会社を中心となり設立された復幸まちづくり女川合同会社が深く関係している。</p> <p>したがって、こうした機関との販路開拓や人材育成等に関する情報交換の場を定期的実施・継続することで、地域の小規模事業者の支援ノウハウの強化を図っていく。</p> <p>また従来より、広域連携を結んでいる石巻市牡鹿稲井商工会と宮城県商工会連合会を交えて定期的に経営支援会議を開催しているが、その中で広範囲並びに近隣市町村の消費者需要の動向を情報収集し、支援内容について検討することで新たなビジネスチャンスの開</p>	項目	現状	H27	H28	H29	商工祭事業	1	1	1	1	女川町商店街復幸祭事業	1	1	1	1	にぎわい拠点でのイベント事業 (おもてなし市の開催)	—	12	12	12	<p>【実績】</p> <table border="1" data-bbox="1294 327 1742 478"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>商工祭</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>復幸祭</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>おもてなし市</td> <td>12</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>*おもてなし市については6～11月まで12回開催。その他12月の駅前商業エリアオープンの際は5日間にわたりオープニングイベントを開催、会員事業所が自社商品の出展を行った。</p> <p>・町内では、地域資源を活用した製品のブランド化について復幸まちづくり女川合同会社と、また人材・組織育成・産業活性化・創業についてはNPO法人アスヘノキボウと協働することで、支援ノウハウや各種情報の交換を行っている。</p> <p>また、石巻市牡鹿稲井商工会とは定期的に経営支援会議を開催することで、経営支援スキルの向上に努めている。</p> <p>さらに、宮城県商工会連合会・広域企業支援グループからは中小企業施策等各種情報の提供を受けることで、タイムリーな経営支援を実現することが可能となっている。</p>	項目	目標	実績	商工祭	1	1	復幸祭	1	1	おもてなし市	12	1	<p>数値目標に対する評価</p> <table border="1" data-bbox="1765 252 2159 295"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="background-color: yellow;">A</td> <td>B</td> <td>C</td> </tr> </tbody> </table> <p>評価</p> <table border="1" data-bbox="1765 730 2159 774"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="background-color: yellow;">A</td> <td>B</td> <td>C</td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C
項目	現状	H27	H28	H29																																										
商工祭事業	1	1	1	1																																										
女川町商店街復幸祭事業	1	1	1	1																																										
にぎわい拠点でのイベント事業 (おもてなし市の開催)	—	12	12	12																																										
項目	目標	実績																																												
商工祭	1	1																																												
復幸祭	1	1																																												
おもてなし市	12	1																																												
A	B	C																																												
A	B	C																																												
A	B	C																																												
A	B	C																																												

【評価について】A:計画項目を実施しており、かつ効果が現れている B:計画項目を実施しているが、効果が現れていない C:計画項目が実施されていない

経営発達支援事業の内容	実施内容	評価			
<p>拓につなげる。</p> <p>さらに必要に応じて、高度専門的な支援が必要な際は、宮城県商工会連合会・広域企業支援グループや宮城県よろず支援拠点を活用することで、個々の企業のサポートを実施すると同時に、支援スキル・ノウハウを学習することで、商工会の支援機能の強化を不断に進める。</p> <p>2. 経営指導員等の資質向上等に関すること</p> <p>宮城県商工会連合会が主催するテーマ別の職員研修を受講することで、不足する経営支援スキルの向上に努めるとともに、全国商工会連合会が実施する「経営指導員等Web研修」を受講することにより、支援知識の補完に努める。</p> <p>また、専門家派遣や宮城県商工会連合会・サポーターズリーダーの事業所支援に帯同することによって、専門的知識の習得を行う。</p> <p>さらに、毎日の業務内において、経営指導員間で指導・助言内容について情報共有を図ることで、組織としての経営支援スキルを向上させる。</p> <p>情報共有の方法として具体的には、週初めに実施する全職員を対象とした打ち合せ会議の中で、支援対象事業所の進捗状況について担当者が説明を行うとともに、その際活用した手法・支援ノウハウや専門的知識について全職員（支援員）に伝達する。</p> <p>また、支援の進捗状況については、商工会長宛必要の都度報告を行い、適切な助言を受けることとする。</p> <p>3. 事業の評価及び見直しをするための仕組みに関すること</p> <p>毎年度、本計画に記載する事業の実施状況及び成果について、以下の方法により評価・検証を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> i. 外部専門家（中小企業診断士）を招聘し、事業検証のための会議を開催する。 ii. iでの外部評価を経て、評価・見直しの方針の素案を策定する。 iii. iiで策定した内容について、理事会へ報告し、承認を受ける。 iv. 事業内容については、商工会ホームページに公表する。 v. iiiで承認を受けた内容に基づき、事業を実施する。 	<p>・研修の受講や専門家への帯同、また先述の企業を取り巻く市場動向に関する情報を共有することで、会員事業所のニーズに即応できるよう、資質の向上に努めている。</p> <p>支援の進捗状況については、商工会長宛必要の都度報告を行い、適切な助言を受けることとしている。</p> <p>・平成28年5月17日に事業検証のための会議を開催。中小企業診断士・道浦健治氏を招へいし、当該事業の実施内容について評価をいただいた。</p>	<p>評価</p> <table border="1" data-bbox="1765 437 2154 475"> <tr> <td style="width: 33%;">A</td> <td style="width: 33%; background-color: yellow;">B</td> <td style="width: 33%;">C</td> </tr> </table> <p>*評価なし</p>	A	B	C
A	B	C			

【評価について】A:計画項目を実施しており、かつ効果が現れている B:計画項目を実施しているが、効果が現れていない C:計画項目が実施されていない

* 総合評価

項 目	評 価			コメント	総合評価
I. 経営発達支援事業の内容				<ul style="list-style-type: none"> ・経済動向調査や需要動向調査については、個別事業所に対するフィードバックもそうだが、会員事業所にとって有効となる資料に分析する必要がある。 ・需要の開拓については商談会出展だけではなくECサイトへの出展や企業間取引等様々な手段が考えられるのではないかな。 	B
1. 地域の経済動向調査に関する事	A	B	C		
2. 経営状況の分析に関する事	A	B	C		
3. 事業計画の策定支援に関する事	A	B	C		
4. 事業計画策定後の実施支援に関する事	A	B	C		
5. 需要動向調査に関する事	A	B	C		
6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関する事	A	B	C		
II. 地域経済の活性化に資する取組					
III. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組				<ul style="list-style-type: none"> ・企業のニーズや消費者のニーズについては日々変化するので、そうした動向を捉えながら企業支援にあたって欲しいと思います。 	
1. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関する事	A	B	C		
2. 経営指導員等の資質向上等に関する事	A	B	C		

【評価者コメント】日々変化する消費者ニーズや市場動向を確実に捉えるとともに、小規模事業者の現状分析を踏まえた販路開拓や売上拡大に資する具体策を講じることで、企業の成長を確実に具現化するよう支援をして欲しいと思います。

【評価について】A:計画項目を実施しており、かつ効果が現れている B:計画項目を実施しているが、効果が現れていない C:計画項目が実施されていない